

令和5年度 林業普及週間現地情報(2/5～2/9)

森林管理課

今帰仁小学校での木育の開催

2月9日(金)

令和6年2月9日、次年度今帰仁村産木材で製作した木製品を納品予定としている今帰仁小学校で、小学3年生の生徒たち37名を対象に木育を開催した。

当日は講義と体験学習を実施した。講義内容としては、森林のはたらきや、沖縄県の木材について話をした後、今帰仁村における森づくりと木材利用の歴史、及び今帰仁村で実施中の地域材利用促進モデル事業の取り組みについて話をした。その後、今年度今帰仁村の山で伐採したクスノキの枝を使って、生徒たちによる丸太切りとメダルづくりの体験学習を行った。

今回の木育の講義内容については、今帰仁村教育委員会のキャリア教育コーディネーターと事前に調整し、これまでの生徒たちの活動ともリンクさせられるように取り組むことができた。また体験では、クスノキの香りを感じながら楽しく製作してもらうことができた。木育を行う中で、今帰仁村役場の職員が手伝いに来たり、親が見学に来たりと多くの関心が寄せられ、校長先生や担任の先生、キャリア教育コーディネーターにも喜んでいただき、子ども達だけではなく幅広い普及活動に繋がったと感じた。

次年度にかけて地域材利用促進モデル事業にて、今帰仁小学校で利用する木製品の製作を予定していることから、引き続き小学校や教育委員会と連携し、継続して木育にもつなげていきたい。



(報告者：北部農林水産振興センター 仲里、中村、森田、佐野)